

イベント名	ひきこもりを考える集い 『この街でつながる』～ <sup>エン</sup> 縁ジョイ、 <sup>エン</sup> 縁パワー、 <sup>エン</sup> ハッピー <sup>ド</sup> 円～
講 師	シンポジスト ひきこもり経験者2名、縁が輪ネットワーク支援者2名 コーディネーター 小倉記念病院 緩和ケア・精神科 部長 三木 浩司 氏 北九州市ひきこもり支援センター「すてっぷ」 センター長 田中 美穂 氏
開催日時	平成 29 年 8 月 20 日（日）13:00 ～ 17:00
開催場所	総合保健福祉センター（アシスト21）2階講堂
参加者数	82名（ひきこもりの経験者・当事者、ご家族、支援者、など）
内容等	<p>ひきこもりの問題に悩む家族や本人、関心を持つ市民に対し、ひきこもりへの理解を深め、問題の幅広い捉え方や望ましい関わり方について共に考える機会を提供することを目的に 第1部：シンポジウム、第2部：グループの語り合いを開催した。</p> <p>第1部は、「縁が輪ネットワーク」（ボランティア支援のネットワーク）による事例について、ひきこもり経験者2名と支援者2名から体験談を発表いただき、貴重な機会となった。</p>
参加者の声	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもりの体験談を大勢の前ですることは、人の心を揺さぶり、感動を与え、勇気を与えてくれ、素晴らしいと思った。</li> <li>・体験者の生の声を聞くことが、一番のひきこもりの理解につながるので、どんどん発信してもらいたい。</li> <li>・どの方もわかりやすく話をされ、具体的な体験が良くわかった。今後の活動が、良い方向に進みますように。</li> <li>・自己有用感は大切だと思った。人は人によって成長する。人との出会いは大切だと感じた。</li> <li>・支援者の方や他の当事者との関係から力を得て前進されているお話から、時間はかかるかも知れないが、ひきこもりから抜け出せるんだと安心感をもらった。</li> <li>・ゆっくりした時間の流れを感じて、いい時間だった。また参加したい など</li> </ul>